

9月定例会 議案審議

内川目・亀ヶ森小学校を大迫小学校に統合

令和2年第3回花巻市議会定例会は、9月4日から24日までの21日間の日程で開かれ、9月10日には議案審議を行いました。

花巻市立小中学校設置条例の一部を改正する条例や財産(花巻市立小中学校学習用タブレット端末)の取得、花巻市消防団員の定員・任免・給与・職務等に関する条例の一部を改正する条例についてなど11の議案を審議し、いずれも可決しました。

改正により、内川目小学校および亀ヶ森小学校が廃止され、令和3年4月から大迫小学校に統合されることになります。

また、小中学校において児童生徒が授業で使用するタブレット端末6,370台の購入などが決定されました。

主な可決議案や質疑は、次のとおりです。

花巻市立小中学校設置条例の一部を改正する条例

可決

要旨…少子化等により児童数が減少していることから、学校規模の適正化により教育環境の充実を図るため、内川目小学校および亀ヶ森小学校を廃止し、令和3年4月1日から大迫小学校に統合しようとするもの。

質疑

- 質問…政府は少人数学級を推進する方向であり、全国知事会、全国市長会、全国町村会も同様の要求を強くしている。このタイミングでの統廃合は時期が悪いのではないか。
- 答弁…国の教育再生実行会議において中間答申がなされたが、学級規模等の記載はなかった。その後、中央教育審議会や文部科学大臣の審議会等で十分な議論がなされて制度改革となると認識している。現時点で少人数学級が導入されるか不明である。
- 質問…現在の学童クラブはほかの施設と共用しているため、専用施設として整備を望む声があるが。
- 答弁…施設内のトイレ、エアコン等については学童クラブ側と話し合っていく。学童クラブは19人から33人へと大きくなる。現在、5つの専門部会を設けてさまざまな課題を協議している。

財産(花巻市立小中学校学習用タブレット端末)の取得に関し
議決を求めることについて

可決

要旨…花巻市立小中学校学習用タブレット端末を取得するもの。タブレット端末は授業で使用するもので、6,370台を買い入れするもの。取得予定価格は4億1,250万円。

質疑

- 質問…子どもたちがタブレットを使用して壊した場合はどこに責任があるのか。
- 答弁…壊した際の修繕については、市が行うことになる。修繕等について子どもに責任を負わせるということはない。

新花巻図書館整備特別委員会 9月定例会で中間報告

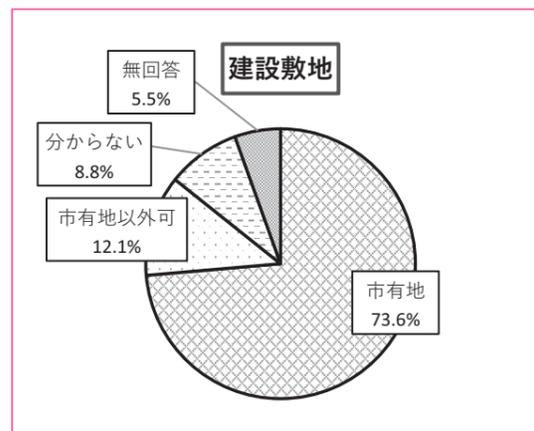
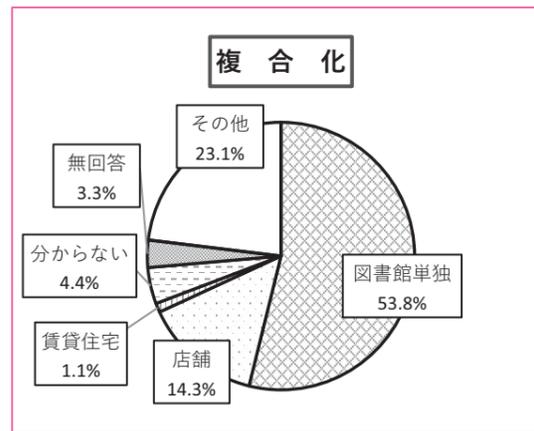
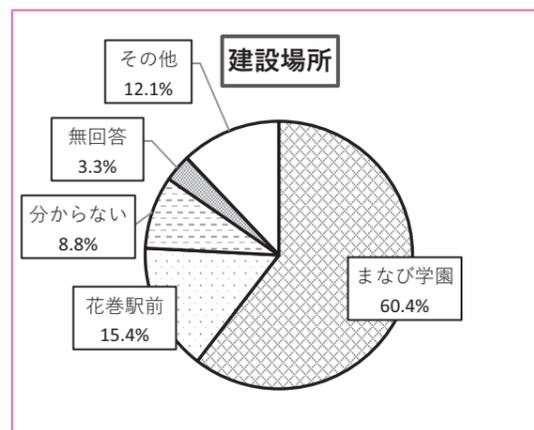
意向書への対応促す

情報不足の声多数

新花巻図書館整備特別委員会は9月18日、第5回特別委員会を開催し、中間報告を行うことや報告内容を協議・決定しました。中間報告は9月24日の本会議で委員長が報告。その内容は、議会が行った新花巻図書館整備に関する市民との意見交換会の結果や、6月25日に提出した意向書について、市の取り組みを促す内容となっています。中間報告書は委員長から議長に提出し、議長から市長へその写しが送付されました。中間報告の内容は議会ホームページに掲載しています。

8月11日と17日から19日の4日間行った市民と議会の意見交換会では、どの会場でも

関心の高さがうかがわれました。会場では「新図書館の情報は新聞記事だけ。なんら情報がない」と、説明会の開催など情報を求める声が多く聞かれました。会場でのアンケート



調査結果は円グラフのとおりです。91人が回答し「建設場所はまなび学園周辺、複合化ではなく単独で整備、建設は市有地に」がそれぞれトップを占めました。

特別委員会では、引き続き中間報告で示した項目に対する市の取り組み状況をたどっていくほか、小委員会で視察した一関図書館のように「市民による市民のための図書館」となるよう、議論を深めていくこととしています。